港湾振興便り

2015. 12

第103号

＊：

目　　次

＊：

1　ポートエッセイ　―食の魅力を日本の魅力に　ぐるなび会長の話に学ぶ―
～日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）篠田　昭～

2　トピック

●『ザ・シンポジウムみなとin稚内』を開催しました　～みなとが繋ぐ島々との夢海道～
（ザ・シンポジウムみなと実行委員会事務局）

●まちを守る大船渡港湾口防波堤（復旧工事）見学会
（大船渡市　商工港湾部　港湾経済課）

●秋田港国際コンテナ定期航路が開設20周年を迎えました
（秋田県　産業労働部　商業貿易課）

●日本海側初となる大規模津波防災総合訓練を実施しました
（北陸地方整備局　港湾空港部　港湾空港防災・危機管理課）

●『第7回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inとば』の開催
（中部地方整備局　港湾空港部　海洋環境・技術課）

●「宮子姫みなとフェスタ」が開催されました
（近畿地方整備局　和歌山港湾事務所）

●うみ・みなと・暮らしのつながりを学ぶ！小学生社会見学会を開催しました
（中国地方整備局　境港湾・空港整備事務所）

●スポーツイベントと合わせた津波避難防災学習について
（四国地方整備局　港湾空港部　港湾空港防災・危機管理課）

3　お知らせ

◇公認釣りインストラクター募集

◇港湾関係団体新春賀詞交換会

◇名古屋港へ“世界最大の”作業船を見に行こう！！
～　浚渫兼油回収船「清龍丸」とグラブ浚渫船「五祥」船内見学会　～

◇神戸みなとの知育楽座

＊：

1　ポートエッセイ　―食の魅力を日本の魅力に　ぐるなび会長の話に学ぶ―

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長)　篠田　昭～

＊：

先日、食の情報サイト「ぐるなび」の滝久雄会長と懇談する機会があった。昨今の和食文化の盛り上がりもあって、ぐるなびの注目度も飛躍的に上がっているそうだ。

「特に外国人の関心が高い。すごい勢いでインバウンドが伸び、それが地方の個店にまで波及している。こんなところにまで外国人が来ているの、って感じだ」と滝会長。スマホで外国人が情報を取り、その情報を外国人がまた発信して輪がどんどん広がっているという。「今後はネットとつながらないと。うちは紙媒体も活かすけれど、それもネットと連携するから効果が上がる」とも滝会長は語る。

高尾山の魅力が外国人にネットで伝わって、外国人が大勢行くようになると、日本人が高尾山を見直して、また行くようになるーそんな現象が自然の世界だけでなく、食の世界で急速に広まっているというのだ。「やはり地元の食材を活かし、地元の生産者と結び付いている店が注目されている」と滝会長。

大変に納得できるお話だった。先日訪れたイタリアのミラノなどでもシェフと地元農家やワイン生産者が強く結びついていた。地元の新潟市でも今年２月、ぐるなびと地域活性化包括連携協定を締結して以降、食の生産者と料理人・シェフをつなぐ「シェフの日」を催してもらい、大きな効果が出始めている。

そんな中で嬉しいニュースがあった。今年開催された「居酒屋甲子園」で新潟市の「燕三条イタリアンBit」が日本一に選ばれたのだ。Bitはとことん地元の食材と食文化を活用している。イタリアンに使う魚や肉類、野菜はもちろん新潟のものを厳選する。それだけでなく、玉川堂鎚起銅器のビールカップをはじめ、洋食器なども生まれ故郷の燕三条産を活用している。食材はもちろん、食文化も地元産をそろえ、付加価値をつけている。

開店３年目で「日本一」を手にしたオーナーの秋山武士さんは「今後も地元産にこだわり、人材育成に力を入れる」と言う。食の発信も地域の総力戦となっている。酒文化を発信している港湾関係者にとっても楽しみな流れだ。

今年１年お世話になりました。来年もよろしくお願いします。良いお年を！

＊：

2　トピック

＊：

●『ザ・シンポジウムみなとin稚内』 を開催しました　～みなとが繋ぐ島々との夢海道～

（ザ・シンポジウムみなと実行委員会事務局）

港湾との関わりで地域振興を考える「ザ・シンポジウムみなとin稚内」を１１月４日（水）、稚内市内で開催しました。

このシンポジウムは地域の発展の核となる港湾の重要性を理解してもらおうと、平成6年から道内各地で開催しています。今年のテーマは「みなとが繋ぐ島々との夢海道～稚内港を拠点とした観光振興について考える～」で、外国人観光客が年々伸びている離島（利尻・礼文）観光について、地域の取り組み方や戦略を考えました。

基調講演ではNPO法人離島経済新聞社の鯨本あつこ統括編集長が「島の光を観に行こう」と題して、

全国各地の離島の魅力について体験談を交えて説明。島の子供が観光ガイドを担っている三重県の神島の例を挙げ「子供の視点による案内は新鮮で、心に響いた。子供がその地域を学ぶきっかけにもなる。」と述べました。

また、パネルディスカッションでは、離島の観光戦略についてコーディネーターである稚内北星学園大学の藤崎達也講師を中心に4人のパネリストが議論を交え、「（外国人観光客への対応について）買い物をする際にクレジットカードを使える店が少なく、両替所も無く対応が必要。」、「そもそも離島が知られていない。」などの意見が上がり、サービス向上や情報発信の必要性が共有されました。

●まちを守る大船渡港湾口防波堤（復旧工事）見学会

（大船渡市　商工港湾部　港湾経済課）

１１月13日（金）、大船渡港において『まちを守る大船渡港湾口防波堤（復旧工事）見学会』（主催：大船渡港振興協会、共催：国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所、大船渡市、協力：東洋建設（株））が開催され、大船渡市立末崎小学校6年生31人が参加しました。

この見学会は、東日本大震災により甚大な被害を受けた大船渡港湾口防波堤の災害復旧工事状況について、ふ頭内のケーソン製作現場や、大船渡湾内で実際に行われている工事現場等を見学することで、まちを守る湾口防波堤の役割や災害復旧工事の現状、さらに港や船に関わる仕事への理解を深めることを目的として開催されたものです。

児童たちは、ケーソンの大きさに感嘆の声を上げ、初めて見る大船渡湾内の工事現場に驚いたり感心しながら、復興に向けて多くの人がさまざまな仕事に携わっていることを学びました。また、乗船した船の中では、ふだん目にすることのできない海からのまちの景色に目を輝かせていました。

○港湾業務艇「ごいし」乗船による湾口防波堤復旧工事現場見学（大船渡港内）

○ケーソン製作現場見学（大船渡港野々田ふ頭）

●秋田港国際コンテナ定期航路が開設20周年を迎えました

（秋田県　産業労働部　商業貿易課）

　11月13日、秋田市内で秋田港国際コンテナ定期航路開設20周年の記念式典が開催されました。式典には約130人が出席。秋田県知事から航路の発展に貢献してきた韓国海運業者へ感謝状が贈呈される等、会場は祝賀ムードに包まれました。

　また、式典では秋田港国際コンテナ定期航路の歩みを紹介したほか、東北工業大学名誉教授の稲村肇（はじめ）氏による「秋田港の将来への提言」と題した記念講演を行いました。

　秋田港国際コンテナ定期航路は、1995年に釜山航路が週1便体制で就航。現在は釜山航路を軸に、大連や上海を結ぶ航路など週6便体制で秋田の貿易を支えています。

主催者挨拶　佐竹知事

感謝状・記念品贈呈

感謝状及び記念品受賞者記念写真

記念講演　稲村名誉教授

●日本海側初となる大規模津波防災総合訓練を実施しました

（北陸地方整備局　港湾空港部　港湾空港防災・危機管理課）

地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図るため、94の防災関係機関が連携・協力して、日本海側で初めてとなる大規模津波を想定した訓練を11月7日（土）に実施しました。

この大規模津波防災総合訓練は、平成16年12月に発生した「スマトラ島沖地震」の津波被害を契機として、平成17年度より実施されています。10回目を迎えた今年は新潟東港をメイン会場に、国や地方公共団体、ライフライン関係機関、建設業団体、大学、報道関係機関、NPO 法人、地域住民等、約5,500名（訓練参加者4,500名、見学者1,000名）が参加し行われました。

訓練では、津波来襲に備えた避難広報、船舶避難をはじめ、関係機関の連携・協力による漂流者救助、航路啓開、排出油防除、緊急物資輸送やTEC-FORCE等による港湾施設被害調査など実施されました。

当日は天候にも恵まれ、予定していた全ての訓練項目を実施することができました。一般見学者も多数来場していただき、津波への関心や防災意識の向上に少しでも寄与することができたと思います。

また、各機関とは訓練準備段階から幾度も会合を重ねることで、お互いの顔が見える関係を築くことができ、災害時での連携の強化につながる大変有意義な訓練となりました。

メイン訓練全景

漂流者吊り上げ救助

航路啓開(水中障害物撤去)

緊急支援物資輸送

●『第7回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inとば』 の開催

（中部地方整備局　港湾空港部　海洋環境・技術課）

平成27年10月31日（土）、11月1日（日）に、三重県鳥羽市の「みなとオアシスとば」にて、『第7回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inとば』が開催されました。

本大会には、北は岩手から南は鹿児島まで全国16地域のみなとオアシスから18種類のSea級グルメが出展され、No．1の座をかけて自慢の味を競い合いました。本大会では、地元「みなとオアシスとば」の『サメ春巻』がグランプリに輝きました。また、第2位には「みなとオアシス境港」の『境港かにつめコロッケ』、第3位には「みなとオアシスがまごおり」の『ガマゴリうどん』が選ばれました。
大会当日は、天候にも恵まれ、2日間で約2万1千人の来場者が訪れ、大変賑わっていました。

●「宮子姫みなとフェスタ」が開催されました

（近畿地方整備局　和歌山港湾事務所）

11月1日(日)に和歌山県御坊市の日高港にて「宮子姫みなとフェスタ」が開催されました。開催地となりました日高港は、県内の中心に位置しており、明治中期から大阪商船の紀州航路の寄港地として発展したところです。また、「宮子姫フェスタ」はこの日高港のPRを目的に毎年開催されています。

今年の目玉は、昨年11月に御坊市とパートナーシティ協定を結んだ徳島県阿南市からの本場阿波踊り連（奴連）の参加で、演舞が始まると観客席の方々も祭り囃子にあわせて一緒に踊るなど、プログ

ラム序盤から大変な盛り上がりを見せました。

その後、会場では地域の特色を活かした「陸」・「海」・「空」それぞれのイベントが開催され、県内のみならず他府県からの来場者も多数見受けられ、主催者発表で1万5千人の方々で賑わいました。当所もPRブースの出展や海面清掃兼油回収船「海和歌丸」の船内公開を行い、多くの方々にご参加をいただきました。

徳島県阿南市から参加の奴連による演舞

陸の催し～宮子姫による時代行列～

海の催し～「海和歌丸」の船内公開～

空の催し～エアロバティックショー～

●うみ・みなと・暮らしのつながりを学ぶ！小学生社会見学会を開催しました

（中国地方整備局　境港湾・空港整備事務所）

海運や港湾と「暮らし」のつながりについて学んでもらおうと鳥取運輸支局と共催で10月5日（月）に境港市立外江小学校5年生、先生を含め総勢58名、26日（月）に渡小学校5年生、先生を含め総勢51名による社会見学会を開催しました。

見学会では、陸上から境港外港昭和南地区のコンテナターミナル、港湾荷役設備、チップ置き場等の港湾施設を見学し、海上から当所が所有する港湾業務艇「みほかぜ」で、境港外港昭和南地区、中野地区、竹内地区の港湾施設と現在施工中の防波堤や岸壁の工事現場を見学してもらいました。

船内では、当所職員がみなとの役割と仕組み、みなとと住民の暮らしとのつながりについて説明を行い、小学生達は、当所職員が行う国際物流ターミナルや国際貨客船ターミナルの整備状況、海上工事の説明に熱心に耳を傾けていました。

また、日頃見慣れない海上からみる景色にも興味津々の様子でした。この社会見学会を機に、児童

達が少しでも「港」を身近に感じてもらえるようになれば幸いです。

港湾業務艇「みほかぜ」乗船前の様子

若手職員による「みほかぜ」船内での説明の様子

「みほかぜ」から防波堤の整備の様子を見学

「みほかぜ」から見たクルーズ船「ぱしふぃっくびいなす」

●スポーツイベントと合わせた津波避難防災学習について

（四国地方整備局　港湾空港部　港湾空港防災・危機管理課）

　11月7日（土）高知県黒潮町県立大方高等学校体育館にて、鯨カップJrビーチバレーボール大会2015が実施されました。体育館でビーチバレーボール？と思われるでしょうが、本来は黒潮町の鯨公園でビーチバレーボール大会が開催され、同時に津波避難訓練も実施する予定でした。実施されれば『四国初』の海辺イベント時での津波避難訓練でしたが、あいにくの雨のため、体育館に場所を移しての大会開催となりました。大会には、特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会から朝日健太郎さんと佐伯美香さん2名のオリンピアンを招いて、子供たちとチャレンジマッチを行うなど大会を大いに盛り上げていただきました。

　お昼休みの時間を利用して、大会参加者に対して津波避難に関するビデオ学習やクイズを行い、津波に対する避難のあり方等について学習していただきました。また、子供たちの憧れである二人のオリンピアンにも参加していただいたとあって、子供たちは真剣に防災について学習していました。朝日健太郎さんからは、「全国でもスポーツイベント時における防災学習というのは、私は初めての経験であったが、防災とスポーツの組み合わせは非常に有効でありました。」と話していただきました。また、地元の婦人会から炊き出しをして頂いたほか、屋外の展示ブースでは、高知港湾・空港整備事務所により造波模型や展示パネルの設置を行い、多くの方に啓発活動を行うことができました。四国地方整備局では、一人でも多くの方に津波避難防災について理解していただくために、今後もこのような取り組みを行

っていきたいと思います。

ビデオ学習の様子

防災クイズの様子

展示ブースの状況

大会関係者による記念撮影

地元婦人会による炊き出し

＊：＊

3 お知らせ

＊：＊

◇公認釣りインストラクター募集

1. 公認釣りインストラクター資格区分
   （1） 海　面：船釣り、磯釣り、投げ釣り、擬似餌釣り(ルアー、フライ)
   （2） 内水面：渓流釣り、清流釣り、止水釣り、擬似餌釣り(ルアー、フライ)
   ※受験資格：20歳以上受験可能
2. 養成講習会
   東京、山口、兵庫各会場は終了
   （1）名古屋　平成28年1月16日(土)～17日(日)
   会場：愛知県産業労働センター　ウインクあいち
   住所：愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4－38
3. 資格試験　2日目講習終了後に午後から同じ会場で実施

【申し込み先】

(一社)全日本釣り団体協議会
〒102-0074　東京都千代田区九段南4丁目6番13号ﾆｭｰ九段ﾏﾝｼｮﾝ1001号
TEL　03－3265－4193　FAX　03－5275－7077
fishing@dream.ocn.ne.jp

◇港湾関係団体新春賀詞交換会

開催日時　：　平成28年1月20日（水）18：30～

会　　場　：　ANAｲﾝﾀｰｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙﾎﾃﾙ東京　地下1階「プロミネンス」

会　　費　：　5，000円

主　　催　：　公益社団法人日本港湾協会・全国港湾知事協議会・全国市長会港湾都市協議会
・日本港湾振興団体連合会・港湾海岸防災協議会

問合せ先　：　公益社団法人日本港湾協会　TEL03－5549－9575

◇名古屋港へ“世界最大の”作業船を見に行こう！！

～　浚渫兼油回収船「清龍丸」とグラブ浚渫船「五祥」船内見学会　～

グラブ浚渫船「五祥」

浚渫兼油回収船「清龍丸」

開催日時　：　平成28年1月29日（金）～1月30日（土）
各日10時～14時

会　　場　：　名古屋港ガーデンふ頭2号、3号岸壁
（名古屋市港区港町1-15、地下鉄名港線名古屋港駅徒歩約7分）

概　　要　：　世界最大の浚渫兼油回収船である「清龍丸」と世界最大の200m3グラブを有する浚渫船「五祥」を一度に見ることができます。
参加費無料で、申込み不要です。是非、名古屋港へお越しください。

問合せ先　：　中部地方整備局名古屋港湾事務所企画調整課
TEL　052－651－6763

◇神戸みなとの知育楽座

開催日時　：　平成28年1月23日（土）14：00～15：30

会　　場　：　神戸市中央区波止場町　神戸海洋博物館

概　　要　：　「神戸のみなと･まち･歴史をもっと知ろう」をテーマに、「神戸異人館建築の歴史とみどころ」と題し、坂本勝比古神戸芸術工科大学名誉教授による講演会を開催する。

問合せ先　：　NPO法人近畿みなとの達人　TEL078－891－4561

＊：＊：＊：　本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先　：＊：＊：＊＊：＊：＊：

日本港湾振興団体連合会事務局
〒105-0002　港区愛宕1－3－4
TEL：03-5776-0630 FAX：03-5776-0631
e-mail：bcf06323@nifty.com

＊：